

屋内消火栓の操法を競う

高遊原南消防本部で最後の消防大会

高遊原南消防本部で11月2日、市消防局との広域再編化に伴い、同本部では最後となる消防大会が開催され、本町と西原村内の企業、福祉施設、自衛隊などが屋内消火栓操法の技術を競いました。

3人1組のチームで、屋内消火栓からL字に約30メートル離れた火点までホースを伸ばして放水。火点を倒す時間や規律

動作を採点基準として競い、全25チーム(男子18チーム、女子7チーム)で男子の部、女子の部ともに熊本空港警備が優勝しました。

●主な成績

男子優勝 熊本空港警備

2位 ナカヤマ精密

3位 空港ビルディングA

女子優勝 熊本空港警備

2位 空港ビルディングB

3位 にしはら保育園



的確で機敏な動作でホースを伸ばし、火点に向かう選手



パン食い競走で楽しく汗を流す参加者

爽やかな汗、親睦深まる

第31回益城町福祉スポーツ大会

社会福祉関係諸団体および福祉施設入所者の親睦を深めることを目的とした益城町福祉スポーツ大会が、10月25日、町総合体育館メインアリーナで開催されました。

今回で31回目を迎える福祉スポーツ大会には、町内の福祉・介護施設や老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会などから約580人が参加。各種

団体間で交流が行われました。パン食い競走や大玉転がし、対抗玉入れなど、会場全面を使ったスポーツ競技が行われると、参加者から選手に声援が送られ、体育館内に歓声が響き渡りました。

午後からは、芸人「わんだふる佳恵」さんによる古典奇術和妻や、各施設・団体によるアトラクションを楽しみました。

遭難事故、今に伝える

津森小学校で「いのちの日」集会



津森小学校で育てた花を供える同校児童

今から64年前の昭和24年11月5日の午前10時14分ごろ、津森小学校の修学旅行中に起こった遭難事故で亡くなった児童らを慰霊する「いのちの日」集会が11月5日、同校で行われました。

当時、日奈久沖で修学旅行中だった同校児童らが乗っていた遊覧船が転覆し、児童22人、教師1人、校医1人の計24人が亡くなった「日奈久沖遭難事故」の

凄惨さ、命の大切さを今の児童らに伝えるため、毎年この時期に集会が開催されます。

集会前には辻ヶ峰公園内に建てられた慰霊塔で献花式が行われ、同校5・6年生や遺族、地域住民など約50人が参加し花を供えました。

事故を経験した坂田弘之さんは当時を振り返り「同じような事故がなくなるよう祈りを捧げた」と、慰霊塔を見つめていました。